

2022 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名	西原 真弓	職名	教授	学位	修士(英語学) アリゾナ州立大学(1990 年)
----	-------	----	----	----	--------------------------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
英語教育 英語学 (英語音声学) 異文化コミュニケーション	教員養成課程における指導法 (語彙指導・音声指導) 教員研修の効果的な指導法 日本人英語学習者の発音とリスニング力の関係

研 究 課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・英語教育における「思考力」を測る基準の可視化について教科書分析を行う ・日本人学習者の英語イントネーション核の誤配置について、その影響を与えるチャンツを分析する ・コアのイメージをとらえた英語の語彙指導を深めるため、日本の学校教育では教えない表現をコーパス分析する

担 当 授 業 科 目
※ 該当なし (2023 年度入職)

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
授業科目名【 】 ※ 該当なし (2023 年度入職)
授業科目名【 】
授業科目名【 】
授業科目名【 】

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
大学英語教育学会 外国語教育メディア学会 小学校英語教育学会 日本英語教育音声学会	理事 (2021～)	1991. 4 2014 . 4 2017 . 4 2021. 4

2022年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文) 小学校英語教員養成及 び小学校教員研修にお けるチャンツを使用した英語プロソディ指導	共著	2023年1月	英語教育音声学, 第2 号 p.137-147	小学校での英語教育は音声重視であるため、教員の英語の発音は重要となる。教員に英語プロソディを指導する方法としてチャンツに着目し、教科書分析を行い、プロソディを指導するのに適切であるかを分析した。その結果、ほとんどのチャンツは適切なリズムがついているが、不適切なものもあることが明らかになった。
(翻訳)				
(学会発表)				

外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む)			
(1) 共 同 研 究			
研 究 題 目	交付団体	研 究 者 ○代表者 () 内は学外者	交付決定額 (単位: 円)

英文創出訓練アプリケーションの開発と実践研究	科学研究費補助金基礎研究(C) (一般)	代表：西原俊明 (長崎大学) 研究分担者	1,170 千円
------------------------	----------------------	----------------------------	----------

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等		
団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
<ul style="list-style-type: none"> ・長崎県英語教育推進協議会 ・第70回長崎県英語教育研究会大会 基調講演 ・長崎県諫早市小学校・中学校外国語 教育研修会 ・長崎県大村市中学校外国語教育研修 会 ・長崎県平戸市中学校外国語教育研修 会 ・長崎市小学校外国語教育研修会 ・長崎県五島市中学校英語教員オンラ イン研修会 ・長崎県諫早市中学校外国語養育部会 教員研修会 	<ul style="list-style-type: none"> 委員 講師 講師 講師 講師 講師 講師 講師 	<ul style="list-style-type: none"> 2018年～2022年3月 2022年10月 2022年8月 2022年8月 2022年8月 2022年8月 2023年2月 2023年2月

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）
※ 該当なし（2023年度入職）